

温室効果ガス排出量算定結果

清水町は令和2年度に「清水町地球温暖化対策実行計画（第3版）」を策定しました。本計画は令和2年度から令和7年度の5年計画であり、役場の事務事業により排出される温室効果ガス（CO₂換算）の排出量を5年間で基準年度（平成30年）と比較し9%削減することを目標としています。

令和4年度は基準年度比で18.4%増加しました。増加の主な要因は、電気使用量の増加によるものであり、これは令和元年度から町内小中学校に導入が始まったエアコンの使用や令和2年7月に開館した複合施設（旧図書館、保健センター）によるものと考えられます。

令和4年度排出量

（単位：t-CO₂）

排出量	平成30年度	令和3年度	令和4年度	基準年度比（増減率）
車両 ^{※1}	24.9	18.1	19.3	-5.6（-22.5%）
機械等 ^{※2}	127.0	191.4	203.8	76.8（60.5%）
電気 ^{※3}	1,008.3	1,152.8	1,150.8	142.5（14.1%）
合計	1,160.2	1,362.3	1,373.9	213.7（18.4%）

※1 車両は自動車の走行に伴う排出

※2 機械等は燃料の燃焼に伴う排出

※3 電気は他人から供給された電気の使用に伴う排出

